

## 予算決算委員会総務文教分科会会議録

### 招 集

平成31年3月14日(木) 議会委員会室

### 出席委員(9名)

(分科会長) 岡 田 啓 介 (副分科会長) 矢田貝 香 織  
安 達 卓 是 稲 田 清 岡 村 英 治 国 頭 靖  
田 村 謙 介 三 嶋 秀 文 安 田 篤

### 欠席委員(0名)

### 説明のため出席した者

伊木市長 伊澤副市長

浦林教育長

#### 【総務部】辻部長

武田防災安全監兼防災安全課長

[秘書広報課] 土井課長 大野原課長補佐兼シティプロモーション推進室長

[総務管財課] 高眞次長兼総務管財課長 角課長補佐兼総務係長

[防災安全課] 小野川地域安全係長

[調査課] 永瀬次長兼調査課長 東森行財政調査係長 野津主任

[職員課] 松田課長 矢野課長補佐兼人事係長

[財政課] 下関課長 長谷川課長補佐兼総括主計員 頼田主計員

[契約検査課] 木下次長兼契約検査課長

#### 【総合政策部】大江部長

黒見人権政策監兼人権政策課長

[総合政策課] 八幡次長兼総合政策課長 倉本まちづくり戦略室長

池口課長補佐兼広域行政推進室

[都市創造課] 若林課長 田仲交通政策室長 山根主幹

[情報政策課] 石上課長

[地域振興課] 塚田課長 永江課長補佐兼国際交流室

[男女共同参画推進課] 的早課長

[人権政策課] 河田課長補佐兼人権啓発係長 景井課長補佐兼同和对策係長

#### 【淀江振興本部】高橋本部長兼淀江支所長

[淀江振興課] 橋井次長兼地域振興課長

[地域生活課] 宮松課長

#### 【教育委員会事務局】松下局長兼教育総務課長

[教育総務課] 松浦主査兼教育企画室長 木村学校管理係長 山花主幹

[学校教育課] 金川次長兼学校教育課長 松本課長補佐兼学務係長

竹本課長補佐兼人権教育係長 西村指導係長

[生涯学習課] 片岡課長 菅原図書館長 安田課長補佐兼生涯学習係長

[学校給食課] 山中課長 野口課長補佐兼給食係長

### 出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 佐藤主任

### 傍聴者

石橋議員 伊藤議員 今城議員 岩崎議員 遠藤議員 奥岩議員 門協議員  
土光議員 戸田議員 又野議員 渡辺議員  
一般2人

### 審査事件

議案第27号 平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）のうち当分科  
会所管部分  
議案第29号 平成30年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第2  
回）  
議案第36号 平成31年度米子市一般会計予算のうち当分科会所管部分  
議案第38号 平成31年度米子市土地取得事業特別会計予算

~~~~~

### 午前10時25分 開会

○岡田分科会長 予算決算委員会総務文教分科会を開会いたします。

本日は、12日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案4件について審査いたします。

初めに、議案第27号、平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）のうち教育委員会所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

松浦教育委員会主査。

○松浦教育委員会主査兼教育総務課長 議案第27号、平成30年度米子市一般会計補正予算（補正第5回）につきまして、教育委員会の所管部分につきまして御説明をさせていただきます。

平成30年度米子市補正予算書の47ページをお開きいただけますでしょうか。歳出でございますが、下から2番目の表、事務局費の中学校組合負担金といたしまして570万4,000円を減額しております。これは箕蚊屋中学校の運営を行っております米子市日吉津村中学校組合に対します負担金でございますが、中学校少人数学級実施事業によります県への負担金がなかったことなどによります減額の決算見込みによるものでございます。

次に、一番下の表の教育振興費の小学校少人数学級実施事業といたしまして400万円を減額しております。また、ページをめくっていただきまして、48ページの上から2番目の表の一番上の中学校少人数学級実施事業といたしまして400万円を計上しております。これらにつきましては、小学校3年生から6年生及び中学校の2年生と3年生の学級を35人編成にするための負担金ですが、実績に伴いまして増減をお願いするものでございます。

次に、同じく48ページの上から一番上の学校建設費の小学校普通教室空調設備整備事業といたしまして1億4,444万6,000円を計上しております。また、その下の表の中学校普通教室空調設備整備事業といたしまして4,949万7,000円を計上しております。

いずれも普通教室の空調設備設置に加えまして、少人数教室ですとかパソコン教室へ空調設備の新設を追加して行おうとする経費でございます。

次に、その下の表の中ほどの図書館費の図書資料費といたしまして100万円を計上しております。これは市内の個人の方から100万円の寄附をいただいたもので、図書購入費として活用し、図書館の蔵書の充実を図ろうとするものでございます。

めくっていただきまして、51ページをお開きいただけますでしょうか。繰越明許費に関する調書でございます。一番下の教育費の表でございますが、これは先ほど御説明させていただきまして小学校普通教室空調設備整備事業費といたしまして補正前と補正後の差額であります1億4,444万6,000円、また中学校普通教室空調設備整備事業といたしまして同様に差額の4,949万7,000円につきまして、工期の関係上、平成30年度内の完了が困難なため繰り越しをお願いするものでございます。説明は以上でございます。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

安達委員。

**○安達委員** これ確認ですが、補正のところでは実績というところの確認ですけれども、中学校費と小学校費、特に小学校費、10の2ですけれども、400万の減は実績がなかったから返すということと、次、中学校費、款項目の項の3は実績があったから補正増をしたということで理解していいですかね。

**○岡田分科会長** 松本学校教育課長補佐。

**○松本学校教育課長補佐** この小学校、中学校の少人数学級実施事業についてですが、これは学級数によって増減します。この学級数は、毎年5月1日の学校基本調査によって確定するものでございます。ですので、当初見込んでいた学級数と比較して増減があったということになります。

**○岡田分科会長** 安達委員。

**○安達委員** ですから、当初よりも多かった少なかったで返す返さない、実績で補正を起こしたということですよ。ふやさなきゃいけないから増にしたということですよ。

**○岡田分科会長** 松本課長補佐。

**○松本学校教育課長補佐** そのとおりでございます。

**○岡田分科会長** そのほか委員の方ありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡田分科会長** ないようですので、次に、議案第36号、平成31年度米子市一般会計予算のうち教育委員会所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

松浦教育委員会主査。

**○松浦教育委員会主査兼教育総務課長** 議案第36号、平成31年度米子市一般会計予算につきまして、教育委員会の所管部分のうち新規の事業等を中心にその概要につきまして御説明をさせていただきます。

ホームページ公開の主な事業の概要で御説明をさせていただきます。それでは、ホームページ公開の主な事業の概要の68ページをお開きいただけますでしょうか。68ページ

下の段、中学校組合負担金としまして8,327万2,000円を計上しております。これは米子市日吉津村中学校組合に対します米子市の負担金でございます、箕蚊屋中学校の運営に要する経費に充てられるものでございます。この負担金額は、米子市と日吉津村の生徒数と国の交付税相当額をベースに算定したものでございます。

めくっていただきまして、69ページの上の段、にこにこサポート支援事業といたしまして2,886万6,000円を計上しております。これは非常勤職員の学習支援員を従来からの小学校23人に加えまして、31年度は中学校にも3人配置し、児童生徒に対する学習支援や学校生活上のサポートを行うものでございます。

続いて、下の段、スクールソーシャルワーカー活用事業として1,072万5,000円を計上しております。現在、教育委員会に3名のスクールソーシャルワーカーを配置しており、コーディネーター役として各機関との調整等を行い、問題解決に取り組んでいるところでございます。31年度は社会福祉士の資格を持っておりますスクールソーシャルワーカー2名の従事します時間を1人当たり500時間ふやし、年間1,500時間とすることで年々増加して多様化しております問題に対応しようとするものでございます。

めくっていただきまして、70ページ上の段、特別支援学校通学支援事業として399万6,000円を計上しております。これはたんの吸引などの医療的ケアが必要なため、通学バス、あるいは公共交通機関などが利用できない特別支援学校の児童生徒を対象に市が福祉事業者と契約し、通学の送迎を委託しようとするための経費でございます。県が市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金実施要綱を定めており、この要綱に沿って市が通学支援を実施しようとするもので、31年度の対象予定は1名でございます。

続いて、下の段、コミュニティ・スクール推進事業として40万8,000円を計上しております。これは地域の声を生かした学校運営を行うためのコミュニティ・スクールを効果的に導入、推進する方法を検討するための費用でございます。

めくっていただき、71ページ下の段、小学校校舎屋上防水改修事業として2,866万2,000円を計上しております。これは福米東小学校及び五千石小学校の校舎の屋上防水改修を行うことにより児童の安全・安心を確保し、教育環境の改善を図ろうとするものでございます。

めくっていただき、72ページの上の段、小学校外壁等改修事業として2,880万円を計上しております。これは彦名小学校管理教室棟の外壁やひさし等を改修することにより児童の安全確保を図ろうとするものでございます。

続いて、下の段、小学校バリアフリー化推進事業として1,440万円を計上しております。これは高齢の方や障がいをお持ちの方も安心して学校施設を利用できるよう彦名小学校の校舎及び屋内運動場に段差解消スロープを整備し、バリアフリー化を推進しようとするものでございます。

めくっていただき、73ページ上の段、小学校長寿命化改修事業として9億1,835万1,000円を計上しております。これは就将小学校において29年度事業の繰越事業として30年度から実施しております事業でございますが、平成30年度の管理教室棟の長寿命化改修に引き続きまして教室棟と昇降口棟の長寿命化改修及びエレベーター棟、多目的トイレ棟、児童玄関などの増築を実施しようとするものでございます。

続いて、下の段、福米西小学校校舎増築事業として4億1,497万4,000円を計上しております。これは児童数の増加に伴い教室の不足が見込まれる福米西小学校につきまして、学級数増加に対応する校舎増築工事を実施しようとするものでございます。

めくっていただき、74ページ上の段、小学校下水道・農業集落排水接続事業として1,649万円を計上しております。公共下水道、農業集落排水が供用開始となります区域にある彦名小学校につきまして排水の公共下水道への接続に係る設計及び接続工事を行おうとするものでございます。

また、少し飛びますけど、79ページ上の段にあります中学校下水道・農業集落排水接続事業として210万8,000円を計上しており、同様に供用開始となる区域にあります尚徳中学校につきまして排水の公共下水道への接続に向けて実施設計を行おうとするものでございます。

74ページに戻っていただきまして、下の段、啓成小学校校舎等整備事業として7,395万5,000円を計上しております。これは老朽化した啓成小学校の校舎の改築にあわせて小学校の敷地内に東保育園の移転改築を行う場合の基本設計と地質調査に係る経費でございまして、小学校の老朽化対策に加えまして保育園と小学校の保小連携を図ろうとするものでございます。

2つめくっていただきまして、76ページの上の段、部活動指導員配置事業として320万2,000円を計上しております。これは中学校の部活動において非常勤職員として部活動指導員を配置するための経費でございます。この部活動指導員につきましては、1週間当たり3日、1回当たりおおむね2時間の部活指導を行いまして、運動部活動外部指導員と異なりまして部活指導員単独での指導や引率が可能となり、教員の負担軽減にもつながるものでございます。

続いて、下の段、中学校屋内運動場整備事業として4,390万円を計上しております。これは加茂中学校の屋内運動場の屋根を改修しようとする経費と屋内運動場に設置されたつり下げ式バスケットゴールの本体装置を更新し、生徒の安全・安心を確保し、教育環境の改善を図ろうとするものでございます。

3つめくっていただきまして、79ページ下の段、公民館運営費として3億1,115万6,000円を計上しております。これは公民館29館の管理運営や社会教育、生涯学習の各種事業実施に伴う経費でございまして、社会教育のみならず地域活動の拠点として各種団体との連携及び支援を行うものです。

めくっていただき、80ページ上の段、公民館施設等整備事業として5,265万6,000円を計上しております。これは公民館を市民の皆様安心して利用いただくよう施設を整備しようとするもので、車尾公民館の屋上防水改修工事のほか崎津公民館ほか、3施設の玄関建具改修工事など優先度を考慮しまして実施するほか、各公民館で館長及び職員が使用していますパソコン機器を更新しようとするものです。

続いて、下の段、加茂公民館整備事業として2億9,206万5,000円を計上しております。これは県道両三柳線の整備によりまして移転が必要となった加茂公民館を移転新築するもので、設計、用地造成工事に引き続きまして、31年度は建築工事及び設備工事を実施しようとするものです。

めくっていただき、81ページ上の段、図書館管理運営費として1億455万8,000

円を計上しております。これは地域の知の拠点として米子市立図書館を適正に管理運営することにより市民の学習意欲を向上させるとともに、知識及び教養の向上を図ろうとするものでございます。

5ページめくっていただきまして、86ページ上の段、市立学校労働安全衛生推進事業として60万円を計上しております。これは産業医1名を委嘱し、労働安全衛生規則に基づき、超過勤務が月80時間を超えた教職員のうち希望者に対し産業医の面接指導を実施しようとするものでございます。

3つめくっていただきまして、89ページ下の段、学校給食運営事業として4億2,582万6,000円を計上しております。これは学校給食の調理、各学校への配送・回収、食器等の洗浄、共同調理場及び調理機器の適正な管理等を行うための経費で、学校給食を安全かつ効率的に運営するためのものでございます。説明は以上です。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

稲田委員。

**○稲田委員** じゃあ、何点か質問いたします。できるだけ本会議や予算決算委員会で聞かれてない中で、そこら辺を中心に質問したいと思います。

先ほどの説明資料79ページ下段、公民館運営費で、ここには事業効果等を書いてあるんですが、実は公民館に対して一番要望が多いのが鍵の管理、要は平日の日中、職員さんがいらっしゃる時間は鍵の受け渡しができる。ただ、借りたい方というのは平日の日中だけではありませんので、借りに行く時間帯が閉館して、あるいは鍵を返す時間が閉館して、往々にして多いのは借りに行くときも返すときも仕事等に行けないという方の改善要望は何度となくこれまで訴えてきましたが、こうやって予算は上がってきてるんで、予算自体どうこうはないんですけど、その辺の検討は行われてきたのかお聞きします。

**○岡田分科会長** 片岡生涯学習課長。

**○片岡生涯学習課長** 今の公民館の貸し館、特に公民館が閉まっているとき等の返却、また貸し出しの件でございますけども、やはり公民館の施設管理上、鍵の受け渡しにつきましては、できるだけ職員を通じて渡していただき、また返却いただくというのが原則だろうと思います。

しかしながら、米子市内29公民館のうち11公民館で返却に限りまして利便性を考慮して施錠をした郵便受けに返却するという館がございますが、ただ、施設管理の観点から必ずしも適切であるとは考えてはおりません。この貸し館時に係る鍵の管理につきましては、できるだけ適切に管理していきたいと、このように思っております。

なお、このたび整備をいたします加茂公民館につきましては、直接事務所に外から投函できるような構造の返却ボックスを設置する予定にしております。以上でございます。

**○岡田分科会長** 稲田委員。

**○稲田委員** ですから、お聞きした内容を私なりに解釈すると、公民館によって扱いに違いがあると。ばらばらとまでいきません、ということは地域によって利便性のよしあしがあるという状態が長く続いていると。私は、以前からある公民館を借りさせてもらったときに、ああ、この返却方法楽だなと思っていて、あるいは地域の方がいつ行ってもそういうことで借りにくいということで、今、要は現状把握されてますよね。言うならば問題点

把握されてると私は解釈するんですけど、ぜひ来年度中にも一定の何か答えを見出していたいただきたいんですが、どうでしょうか。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 先ほども申し上げました既存の施設につきましては、返却のポストを設置する場合、どうしても施設の外壁面等に取りつけるという形になるかと思えます。そうなりますと、投入された鍵の盗難等の危険性というのを排除できないということも一つございます。あわせて、その危険性を排除するためには施設玄関の壁面の改修であるとか、玄関建具そのものの改修等も必要となってまいりますので、そういう課題を含めて研究していきたいと思えます。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 何かしない理由をたくさん言われてしまった気がします。現実的に加茂公民館は設備としてそれをつくりますということであれば、やっぱり、ばらばらのまま運営して行って、ばらばらというか、要は利便性の違いがあるということを見越したまま今後何年か行くというのはちょっと私は理解できないんですが、その点どうですか。例えば、副市長から何かコメントいただくことができますか。

○岡田分科会長 伊澤副市長。

○伊澤副市長 教育施設になりますんで、私が答弁するのはちょっと言っちゃいけないかなと思ながら、今の委員の御指摘は私もそのとおりでなというふうに思いますので、やらない理由を考えるんじゃなくて、できる方法を考えるということが基本だと思っております。教育委員会と一緒に考えていきたいと思えます。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 失礼しました。ですから先ほどの理由は、もう何年も似たようなものを聞いてますので、もうそろそろやってください。お願いします。

それから続けて。

○岡田分科会長 これ教育委員会のほうの御答弁は。どなたか責任のある方、教育長、されますか。

浦林教育長。

○浦林教育長 委員のほうから利便性の違いがあるということも含め、平等にすべきではないかという御指摘を受けまして、できるべく改善を一步でも進められるよう、ちょっと検討してみたいと。どういう状況かもう一度見てみて、やりやすいもの、やりにくいものあろうと思えますので。最終的に市民の皆さんの利便性が同一になるような方法で考えていかなければならないというふう考えております。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 ぜひ検討結果を早く報告してください。

次、81ページの上段の図書館管理運営費なんですけど、これ前年比1,600万上昇しておりますが、この背景、お尋ねします。

○岡田分科会長 菅原図書館長。

○菅原図書館長 図書館管理運営費が増額になっておる理由でございますが、本年、今月の1日から図書館のシステムを新たに更新をしております。それに伴いまして、30年度につきましては従前の図書館システムは再リースという形で稼働させておりましたが、3

月から新規の新たなシステムに動いているということで、31年度につきましてはそれを平準化するようなことで増額になっているということでございます。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 要は、今年度はリース期間が1カ月で、来年度はそれが12カ月分になるから、その分ですよという理解でよろしいですね。

○岡田分科会長 菅原図書館長。

○菅原図書館長 そのとおりでございます。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 利用者の方が、私も正規な数字は持ってませんが、かなり以前から比べれば高どまりしていて、これからシステムも変わるといことで利便性が向上すると思しますので、つけるべきはしっかりつけていただいて、図書の愛好者のみならず市民広くに図書を愛していただけるような施策展開をお願いします。

では、私のほうで最後なんです、86ページの上段です、学校教育課になりますが、これ産業医についてなんで、ここに書いてあるとおりでありますが、ちょっと私これは看過できないなと思っているのが事業の必要性のところ、先ほど文面には要望があった、説明では希望者ということでしたが、本当に希望者という前提でやられるのか確認で伺います。

○岡田分科会長 金川教育委員会次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 今回の御質問ですが、国から出てます法律に関しましては、こういう書き方をしております。学校としましてもやはり教職員の健康ということは大変なことだと思いますので、学校長のほうよりそういう積極的な面談をということで勧めてもらうようには指導していこうと思っております。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 実は、私も以前の職場がこれを、もろに数字を管理する側、管理、仕事じゃなくて。80時間を超えたら産業医診断で、広く、大企業だけかもしれません、これあるんですけど、要は文科省がそう言ってるからという節が私ちょっとどこまで理解していいかわからないんですけど、要するに80時間超えたらわかるのは月で締めて、要は時間数が月末締めなら月末終わって、翌月初めてわかるんです。でも、その方がもしかしたらメンタルヘルス等の対策が必要であれば、その前に受けてもらう、あるいはこういう方って大体ぽんと上がるんじゃないで、ずっと70とか80とか90行ったり来たりしてるんです。したがって、もっと教育委員会側が、学校長になるかもしれませんが、事前に、おい、産業医の面接指導に行きなさいという仕組みを入れる必要があると思いますが、どうでしょう。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 今、委員から意見ありましたが、80時間超えない場合でも多い教職員については校長のほうで指導のほうをしていきますので、それを超えなくても、この教職員は健康の心配があるということになれば、そのところは積極的に受け入れていこうと思っております。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 もう二、三聞きますが、大体80時間、時間外労働される方というのは忙し



いわけです、理由はともあれ。要は病院行きなさいよという話ですよ、面接に。その場合って仕事を休んで行くのか、土日に行けというのか、そこまでは規定されてますか。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 基本的には特休という形をとりますので。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 仕事で行くような話になるのか、その辺のどの休み使うのか、要はそこまでつくってあるということが聞けてよかったんですけど。とにかく80時間超える前に行く。給与も保障されるようであれば、あとは職場に、言うなれば穴があくという言い方は変かもしれませんが、そこまでのケアをする態勢で臨んでいただきたい、これ一応お願いしておきます。以上です。

○岡田分科会長 そのほかの委員。

安達委員。

○安達委員 産業医に関連して教えてください。米子市の職員さんにかかわって言えば労働安全衛生委員会とかがあると思うんですが、以前かかわったので言えば、従業員数が何名以上だったら法的に設置しなさい、委員会を設置しなさいというので産業医に中に入ってもらような仕組みで動いてきたと思うんですが、この産業医1名を委嘱しとありますが、この方の専門性でいけば、いわゆるメンタルなのか、フィジカルなのかを含めて、総合的にお医者さんが専門性を発揮できる方なのかなというところでお聞きしたいのと、もう1点、どっかの今の勤務医さんで、ある時間来ていただく、委嘱していくのか、その2点教えてください。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 1点目につきましては、なかなか専門ということがあるかもしれませんが、医師免許持っていていただきますので、メンタルはもちろんです。が、その他の面にも判断していただけるような方と想っています。

それから2点目ですが、これは勤務医というか、自営をしとられる開業医の方に今お願いしているところです。

○岡田分科会長 そのほか委員の方。

岡村委員。

○岡村委員 何点かそれじゃあ、お伺いしたいと思います。まず、69ページのスクールソーシャルワーカーですけれども、きのうの総括質問でも出されましたですけれども、今度有資格者2名の方が年1,000時間から1,500時間へ拡充するとか、そういうことが書いてありますけれども、こういったことについては、これまでこのスクールソーシャルワーカーの方が活動されておって、どうしてもやっぱり時間的にも拡充する必要があるといったことで出されたと思うんですけど、どういった点で、具体的に何か拡充の必要性というのが迫られたのかということについてお伺いしたいと思います。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 ケースアセスメントということで、関係機関でそういう会議をしていきます。なかなか時間数が限られておりますので、出席できるケース、できないケースということ、ちょっと軽重つけてという現状がありました。ですが、増時間によりそのあたりが解消できるということと、それから増時間につきまして、今の保幼

小の連携、それから小中のあたりの引き継ぎにもかかわりができると思います。

それから、中学校卒業後のひきこもり防止等でソーシャルワーカーがかかわっていく中でそういうことも解消できるというふうに考えています。

それから、予防的な観点ということも考えておまして、学校等の行事に参加するであるとか、学校に訪問させていただくことで子どもたちの様子を見て、その予防的な観点もこの時間増でふやせるかなというふうに考えております。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 このスクールソーシャルワーカーの方の役割というのは、本当に今の時代の中で大事だなというふうに考えています。特に保護者による児童虐待だとか、そういった点についてもやっぱり目配りしながら適切な指導というか、対処というか、そういうものが必要になってくる、そういったことも求められてくるんじゃないかなというふうには思うんですが、この1,500時間に拡充した時間というのは、一応教育委員会事務局に配置ということにはなっているわけですが、具体的にどういった時間枠をふやせるか。臨機応変にするのかどうなのか、そこら辺はどういうふうに考えておられるのでしょうか。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 学校や子どもたちの実態が、年によっても月によっても違いますので、そのあたりで緊急性を要するものに時間はたくさん持っていくという形、臨機応変にというやり方が適当だと思います。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 ぜひ教育委員会とも連携をとりながら有効的に活動していただけるようお願いしたいというふうに思います。

次に、80ページの下段の加茂公民館整備事業ですが、一応新年度、公民館の建物とか設備を更新ということなわけですが、これは具体的にいつ完成予定とかということはもう出てるものなんでしょうか。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 一応年度内完成を目指して早期着工を図っていききたいと、このように思っております。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 31年度中の完成を目指すということだと思うんですが、これは道路の関係も含めてそういうふうにきちんとやる中でそういう計画を立てたということで理解していいのでしょうか。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 整備されます県道の整備時期が、いずれにいたしましても公民館ができて、その後、既存建物解体撤去、その後に整備にかかるということでございますので、当面の間、仮設進入路を使いまして、平成32年、移転の後、仮設進入路から入っていくという、当面の間はそういうふうにする予定にしております。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 じゃ、新しい道路ができるまでは仮設の道路から進入すると、入っていくということになるわけですか。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 そのとおりでございます。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 わかりました。どういうふうに新しい道路との関係になるのかなというところでお聞きしました。工事に伴って、いろいろ工事車両も含めて錯綜するので、ぜひ安全に、交通事故のないように心がけていただきたいというふうに思います。

それと、あともう一つお伺いしようと思ったんですけど、これは74ページの小学校下水道・農業集落排水接続事業ということで、今回彦名小学校の公共下水道への接続に伴う設計及び工事ということなんですけども、こういった公立小中学校の既に接続が可能なところで実際公共下水道に接続してないというのはまだ残されているんでしょうか。そこら辺はわかりますでしょうか。

○岡田分科会長 木村教育総務課学校管理係長。

○木村教育総務課学校管理係長 岡村委員の質問ですけれども、一応公共下水につながってるところでできてないところというのは、車尾小学校が公共下水につないでないところでありまして、こちら国道9号線の道路の関係もありまして、ちょっと国のほうの様子も踏まえて、こちらのほうが解決すれば接続ができるかなと思うんですけど、ちょっとまだ見通しが立たない状況というところがあります。その1校だけでございます。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 わかりました。車尾小学校は、国との調整でちょっとまだ前へ進めることができてないということですので、ぜひとも国との関係もきちんと協議していただいて、早期に公共下水道への接続がなされるよう要望しておきたいと思います。

それと最後になりますけども、今度、予算説明書、こちらのほうをお伺いしたいと思うんですけども、166ページの下段のほうにありますけども、教育費の小学校費で教育振興費の中の準要保護児童就学援助事業ということで、前年度比789万3,000円減になっているということと、あわせて173ページの同じく中学校の関係の中ほどにあります準要保護生徒就学援助事業ということで、中学校で997万8,000円減額ということになっていますけども、これはどういうふうに理解していいのかなということなんですけども、例えば私、今考えてますのは新入学用品費が30年度、2カ年前前倒しの関係でなされたということで、そういった関係も含めて31年度は30年度に比べて減額になったのかどうなのか、そこら辺も含めてちょっとお答えいただけますでしょうか。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育課長 委員のおっしゃるとおりでありまして、今年度の入学準備金のほうが前倒しでもう既に支給されております。前年度6月に1回入学準備金を、かなりおくれてなんですが、支給して、今年度の末にもしておりますので、来年度はその分が減額されているということになります。

○岡田分科会長 安達委員。

○安達委員 岡村委員の加茂公民館のところに関連してお聞きしようかなと思ったんですが、今の新しい建物を建てるために造成工事をしてるなどは見てるんですが、その進捗状況は予定どおり、計画どおり進んでるのかな、というのは、きのうも議場で今城議員が言われたんですけども、テレビニュースでボルトの不足で結構全国的に公共工事がとまったり停滞、あるいは先の見通しが立たない事業があるというふうに聞いたんですが、そ

ういったことはこの米子の地ではないのかな、ないほうがいいんですけども、そのことがちょっと心配で、予定どおり進んでるのかなと思ってお聞きします。

**○岡田分科会長** 片岡課長。

**○片岡生涯学習課長** 今年度実施しております加茂公民館の造成工事でございますが、現在順調に進んでおりまして、工期内完成というふうに一応伺っております。高力ボルト等は、あらゆる擁壁等、コンクリート2次製品を使いながら今造成をしておりますので、そこはならないかと思っております。

ただ、31年度実施します建築の中でそのようなことはあるかもしれませんが、現段階ではその辺の状況については我々のほうではまだ把握はしておりません。以上でございます。

**○岡田分科会長** 安達委員。

**○安達委員** 続いて、公民館の玄関、加茂公民館ですけども、弓浜いろいろ歩くと玄関が自動ドアで開閉するところと手で利用者があけるとところがいろいろあるんですが、それを聞くと地元要望で対応していますというふうに聞くんですが、これ狭い見方すると、申しわけないですが、防衛補助で建物建てたところでは自動ドア、いわゆる騒音があるために建てたので自動ドアです。自分のかかわったときの事業では自動ドアは、いわゆる防衛からここはちょっとその施工はだめです的なことがあったんですが、今の加茂公民館はどのような予定にしておられますか。

**○岡田分科会長** 片岡課長。

**○片岡生涯学習課長** まず加茂公民館のドアですけども自動にしております。従前、弓浜地区、一部といいますか、防衛施設の関係で防音事業で設備設置いたしました公民館ございます。今のそれは騒音ということで防音という形でやってまいりましたけども、今の音ですけども、従前に比べて非常に低くなってきているということで、ほぼ基地の周辺、本当に近いところ以外は基本的には防音しなくていい状況でございます。その中で防音の補助をもらった施設につきましては、自動ドアだったり、手動の新たな玄関の建具を改修するときには防衛設備のほうに財産処分の手続をし、改修をしているところでございます。

**○岡田分科会長** 安達委員。

**○安達委員** 小学校の設備で2点聞きたいんですが、啓成小学校の整備事業というのが既に予算化で進んでるかなと思ってますが、このたび31年度、新年度に当たって説明があったのは、敷地内で既設の校舎を変える、壊しながら新たな校舎を建設しますよと。それと敷地内に保育園の設置も考えていますというところの説明を受けたんですが、今の今、地図というんですか、そういったものはもう提供できる状態になってるのかな、といいますのは2つの大きな施設が敷地内にできることによって、特に保育園は保護者の送り迎えがありますので、ある程度の土地、そういった駐車場を含めた場所を設置していかないと安全管理ができないじゃないかなと思って、その辺のところの図面化ができてるかをお聞きしたいです。

**○岡田分科会長** 松下教育委員会事務局長。

**○松下教育委員会事務局長** 啓成小学校の校舎整備の関係の図面ですけども、現時点ではそういったものまだつくっておりません。今後、お認めいただいた後にどういった形になるのかということで、営繕課等とも協議をしながら案のようなものはお示しをして、それ

で地元にもちょっと説明をして、いろいろ意見を聞きながら、委員さんがおっしゃいますとおり、まず車の交通量がふえるということは予想されまして、保護者の方もその辺は懸念をされるということでございますので、その辺はしっかりと聞きながら調整していきたいというふうに考えてます。

○岡田分科会長 安達委員。

○安達委員 次は、福米西小の増設建設事業について何点か聞きたいんですが、増設しなきゃいけない、学級増に対応してRC3階建てをとということで事業費を組んでおられますが、この予定というのは、申しわけないですが、いつの時点で児童増が発見できたので、傾向があったので、31年度に校舎をつくって対応したいということ、その資料提供というのは以前あったのかなと思ってお聞きしたいです。まず1点。

○岡田分科会長 松下教育委員会事務局長。

○松下教育委員会事務局長 議会の皆様方にはその時点での資料は提供しておりません。

○岡田分科会長 安達委員。

○安達委員 といいますのは、必ず皆さんは統計値を持っておられて、何年何月生まれた子どもがその校区内におられるのを見とられて、今後、今の既設のものは足りないな、不足するなという計画を持たれたと思うんですが、そのことがちょっと判断が、資料ない限りできなかつたんじゃないかなと思って確認したかったです。

要は、多分、弓浜部ではあり得ないですけども、マンションとかが建ったり、急に増設されたり新設されたりすることで対象児童がふえることも急遽あるのかなと思うんですが、一旦あるところの見通しが立つ、いわゆる人口の推移というものが見取られるものがないと、そうだと、この事業に賛成せないけん、そうだと、ちょっと以前その前提で資料がなかったのかなと思ってます。大きな事業ですので、その辺はやっぱり事前に計画の段階なりで資料提供があつて、判断に供するものが必要じゃなかつたかと思うんですが、どうでしょうか。

○岡田分科会長 松下事務局長。

○松下教育委員会事務局長 委員おっしゃいますとおりということで考えております。今年度は、設計に関する予算を認めていただいてまして、既に設計のほうはやとりまして、その段階で説明をすべきだったのかなというふうに思っておりますので、今後そのように対応してまいりたいと思います。

○岡田分科会長 安達委員。

○安達委員 詳細なことなんで、ごめんなさいねと言わないといけんですけども、今後の見通し、持っておられる資料の中に何年先まで人口増、対象児童がふえるというのを今この場で資料はありますか。見通しを立てておられるなら教えてください。

○岡田分科会長 松下事務局長。

○松下教育委員会事務局長 児童生徒数の見通しは、今現在、住民基本台帳をもとにゼロ歳から6歳までの子どもさんの数を現時点での住所地で集計をして推測立てているということでございまして、今現在ちょっと資料は持ってありません。

○岡田分科会長 それはじゃあ、改めて提出してもらえますね。

松下事務局長。

○松下教育委員会事務局長 資料は6年後ぐらいまでのというところで。

○岡田分科会長 それでよろしいですか。

○安達委員 よろしいです。以上です。

○岡田分科会長 そのほか。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 今回の公民館関係で79ページの公民館運営費のところからまずお伺いさせていただきます。29館の施設管理と運営というところで事業計画が挙がっておりますけれども、公民館における社会教育、生涯学習という活動を進めるに当たって、この予算が全て29館に配分されていくのか、市として研修会等に派遣をしたり、生涯学習、社会教育に係る方々の活動費というものがどこか別にあるのかというのをちょっと教えていただきたいんですけれども。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 まず、この公民館運営費のほうでございまして、大きなものが公民館職員の人件費、それから公民館長の報酬等でございます。あわせて通常公民館で実施しております講座の講師であるとか、それから運動会等の必要な経費、公民館祭、その分につきましては、13節の委託料というところで各公民館協議会のほうに委託という形で配分をさせていただいております。

今、委員御質問のさまざまな派遣という、当然職員をさまざまな研修等派遣するケースがございます、そのときには市のバスであるとか、そういうものも運用しますし、必要な場合には旅費等を費用弁償という形で…（聞き取れず）…中でやっております。

○岡田分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 ということは、この予算の中身は公民館に全て行く。必要なときにはどこかに余力を持っていらっしゃって、それらの活動に伴う経費は捻出できるというお考えということでしょうか。

おとしでしたでしょうか、中四国の社会教育の大会が米子であったときのイメージとして、まだまだ米子市が社会教育、公民館を支えていくという意味でも、もっともっと力を入れていかないといけないんじゃないかなという印象を受けたところなんですけれども、それらの活動を支える予算というものがあるのかなとちょっと思ったので聞かせていただきたいと思います。

○岡田分科会長 片岡課長。

○片岡生涯学習課長 社会教育委員の皆さんにつきましては、別途、社会教育総務費の中で報酬であるとか、それに係る会を開く経費等は見させていただいております。

その社会教育の大会等に公民館の職員を派遣という形になりますと、これ各県持ち回りになりますので、この開催に職員を派遣とはなかなか予算を持つのは難しい部分がございますが、ことし、31年度の場合、鳥取県社会教育の会というのが、これは本市で開催をされますので、そこには当然職員等も参加をしていただくようなそういう配慮していきたいと、こういうように思っています。

○岡田分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 中四国も含めてですけども、いろんな活動というのが当たり前支援できるような行事派遣というのを考えていただいて、まずは検討いただければなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

次に、69ページお願いします。スクールソーシャルワーカーのことについて、たくさんの方からの質問がありました。予算総括質問の中で会派の今城議員のほうから障がい者支援課の基幹型の相談センターのところで、そこがひきこもり、発達相談という全体の大きな取り組みになるのかという確認をさせていただいたところ、そちらもしっかりと取り組まないといけないというふうに思っていますという回答がありました。

そこで、スクールソーシャルワーカーはここに予算が大幅にアップされていきます。ここにサポートについてもそうなんですけれども、とにかくしっかりと教育委員会のほうで人も確保してサポートしていこうという中に、ひきこもり支援、発達相談というところについてのかかわりと、こども相談課を中心にするこども総合相談窓口とのかかわりというのをしっかりしていく必要があるんじゃないかなというふうに考えておまして、この拡大をする時間ですね、これからの人員の確保の仕方とか、かかわり方というのでどんな方向性を持っていらっしゃるのかなというのを少し確認をさせていただきたいなと思うんです。

○岡田分科会長 金川次長。

○金川教育委員会次長兼学校教育長 今、委員おっしゃったことに関しまして、今現在もこども未来局、それから障がい者支援課のほうと教育委員会と、スクールソーシャルワーカーも含めてケースごとに連携をとっております。それから、今の義務教育の前後に関しましても、そのあたりの連携ということも、特に就学前のところもかかっているところなんですけど、その後のところも今、県教委とのかかわりもあるんですが、そのあたりで各課、それから県教委との連携という形で今後進めていこうというふうに考えております。

○岡田分科会長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 市長も副市長もいらっしゃるんで、これはもうお願いですけども、これからのひきこもりの相談支援につきまして、基幹型をつくるという意味でも米子市が全体に精神保健部分の対応を厚くしていこうという思いというのはすごい感じ取ることができておりますので、しっかりと全体として研究をしていっていただきたいと思っております。

このソーシャルワーカー、教育委員会というところなので、今の次長の御回答の中にも県教委との連携ということありましたけれども、教育委員会が連携するところというのは若年層に向かって連携をしっかりしていったり、18歳までの連携っていう、やっぱりその後どうやって社会とつなげていくかというところもしっかり持っていただかないといけないんじゃないかなと感じておりますので、しっかりとこれからは私も見ていきたいと思っておりますので、お願いをしておきます。

最後に、もう1点いいですか。

○岡田分科会長 どうぞ、矢田貝委員。

○矢田貝委員 75ページ、中学校の大会派遣事業のところですか。宿泊費につきまして、大幅に引き上げをさせていただいたところで大変ありがたく思っております。県内だけではなく、中国大会、全国大会に派遣になったとき、中学校の部活動が学校教育の一環という捉え方をしたときに、そこの部活に所属している子どもさんたちがどこまでそれらの大会に派遣できるのかというところの基準が明確になっているようでしたらお教えいただけますでしょうか。

○岡田分科会長 松本課長補佐。

○**松本学校教育課長補佐** 中学校の大会派遣事業につきまして、中国大会、全国大会につきましては、選手登録をしている生徒、それから吹奏楽に当たっては参加登録をしている生徒というふうに限定しております。

○**岡田分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** ということは、それ以外に学校等の判断で行こうと思ったときには、市から出た経費を案分するなりしてもいいという考えかなと思うんですけど、そこは余り深く追及するつもりはないんですけども、この1年間をしっかりとかけて、各学校の差がないようにというか、基準というか、実態をつかんでいただきまして、必要なことについてはさらなる拡大についてお願いしておきたいというふうに思います。

○**岡田分科会長** 松本課長補佐。

○**松本学校教育課長補佐** こちらの中学校大会派遣事業につきましては、中体連、中文連に対しての補助という形態になっております。こちらのほうからそれぞれ申請が上がったものについて、精査して補助金を支出しているという形ですので、またそういった精査部分についてはきちんと行っていきたいと思っております。

○**岡田分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 最後に、76ページの部活動指導員配置事業についてですけれども、予算のところで一応10名を予定されて、学校側のほうから要請があったときにこれらの方を週3日、2時間ということで、雇用した方を派遣するという事なんですけど、ちょっとイメージが湧きにくいんですけども、申請があった方、あればまず各学校がその人を見つけて、市に雇用してくださいということになるのでしょうか。市があらかじめ競技を専門的に指導できる人を雇っておいて、顧問が未経験でありました、お願いしますと言ったときに派遣をされるということなのか、そのあたりちょっとわかりにくいのでもう一度お願いします。

○**岡田分科会長** 金川次長。

○**金川教育委員会次長兼学校教育課長** 今の御意見についてですが、来年度につきましては、誰でもできることではありませんので、いろいろ研修も行っていくんですが、その指導者が子どもたちにとって有益な方でないといけませんので、そのあたりで学校長の推薦という形をとって、今、部活に参加していただいている方も含めて、学校長のこの方々という推薦の中で配置していくということを今現在考えております。

○**岡田分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 今現在、中学校にそういった形で指導に入っておられる外部指導者というのは何人ぐらいおられるのでしょうか。

○**岡田分科会長** 金川次長。

○**金川教育委員会次長兼学校教育課長** 今のところですが、7校11名入っていただいています。

○**岡田分科会長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 学校長の推薦があれば11名が対象としてまずは考えられるということですか。

○**岡田分科会長** 金川次長。

○**金川教育委員会次長兼学校教育課長** 対象としては考えられるとは思いますが、運動部



活動のほうで今参加しておられる方が今度の部活動指導員のほうに、時間的なものであるとか、なかなか移行していただけない方もあると思います。そのあたりで全てがそういう形になるとは限らないというところで、これからちょっと予算のほう認めていただければ学校のほうと相談しながらという形になっていきます。

**○岡田分科会長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** わかりました。運動部活動外部指導者活用事業というあたりのこととかいろんな兼ね合いがあると思いますけれども、先生方の負担軽減というところの視点からすれば、しっかりと人材を巻き込んで活動を進めていかれることが大事じゃないかなと思っておりますので、しっかり人選なり学校長の要請、また各顧問の様子、競技団体の声というか、それを聞いていただきまして支援をしていただきたいと思います。以上です。

**○岡田分科会長** 田村委員。

**○田村委員** 時間かかっていますんで、1個だけお聞きします。加茂公民館の整備事業、先ほど来ておりましたが、私、気になっているのは、いわゆる移転補償費6,200万なんですけれども、この算出根拠、これ多分県から提示されたんだと思いますけれども、この移転にかかわる工事を実施するに当たって、この金額の算出根拠と、市としてこれは納得できるものだったのかというのはちょっと疑問に思っておりますが。

**○岡田分科会長** 片岡課長。

**○片岡生涯学習課長** この移転補償に関する補償費でございますけれども、一般補償という形で2億700万の補償ということで県と同意したところでございますけれども、一応この補償金につきましては4年間にわたって事業の進捗状況で分割してお支払いいただくという形で、31年度は6,200万で、残りですけれども、これ32年度、建物の解体、撤去して更地にした段階で全額残りが入ってくるという状況になっております。

**○岡田分科会長** 田村委員。

**○田村委員** ということは、市としてはほぼ手出しがないというふうに考えてよろしいでしょうか。

**○岡田分科会長** 片岡課長。

**○片岡生涯学習課長** 実際には手出しと申しますか、市のほうといたしましては1億ちょっと出すというふうなことになっております。

**○岡田分科会長** 田村委員。

**○田村委員** 最後です。くしくもJRの移転補償なんていうのも米子は抱えてるわけで、そういうことから考えるともうちょっと、いただけると言ったら失礼かもわからないですけども、交渉の余地はあったんじゃないかなというふうには思っております。これは私の意見ですので、いいです。

**○岡田分科会長** よろしいですか。

済みません、委員の皆さんに申し伝えますけれども、きょうは3月当初予算ということで市長にも副市長にも教育長にも来ていただいておりますんで、質問の内容によっては担当課でいいと思いますけれども、せつかくふだんは来られない方が来ていただいておりますので。いや、そうしないと、じゃあ、今度から来ませんよという話にもなりますので、質問の流れの中でぜひ聞いておきたいということがあれば、御出席いただいておりますので、その辺を踏まえて御質問をしていただきたいと思います。

安達委員。

**○安達委員** その意味で質問するわけじゃないですが、タイミングを逸しておって、ちょっと前の県の知事の行動で出てきた記事なんですけど、先の話なんでまだ確定はないと言われてますけれども、名称も含めて国体誘致というのが今後、具体的になるのかなと思っていて、先ほど委員が中学校の派遣ということで、今、結構若い選手たちがすごく頑張ってる種目がたくさんあるなと思ってんですけど、中学生の段階から育成をしていくんだというある程度のベースをつくって、何年後の大会に向かっていく、地元の育成が図られるものじゃないかなと思って、ちょっと聞こうと思ってたんですけども、それどなたが答えられるかわかりませんが、10何年後に計画予定があるように聞いたんですけど、その辺はどのように今、市全体で構えておられるかお聞きしたいです。

**○岡田分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** これは所管はスポーツ振興課になりますので、児童生徒のそこにつながる教育、育成ということであれば教育委員会かもしれませんが、私のほうからお答えします。既に御案内のとおりでありますけど、2033年だったと思います、鳥取県での国体が内々定という段階で、正式にはちょっと忘れちゃったんですけど、日本体育協会のほうに開催したいという意向があるのということと正式に知事が表明されて、申請を出してもいいよということで、これを俗に内々定と呼ぶんだそうではありますが、そういうことで、そこに向かってこれから諸準備が始まるという今段階になってるということでもあります。

そこに向けて競技力向上、あるいはさまざまな施設をどうするのかとかいうような話はこれから本格化する話であります。当然、国体は毎年開かれているわけではありますが、特に開催地、その2年前、3年前は鳥根県での国体でございますので、それに向かってまた教育の向上ということと、これは学校体育との連続性も当然踏まえながらしっかり取り組んでいく課題になろうと思ってます。以上であります。これからです。

**○岡田分科会長** 浦林教育長。

**○浦林教育長** 直結する話ではないかもしれませんが、やはり部活動を充実させて、国体がどうということは置いておいて、子どもたちが自己実現を図るということは非常に大事なことだと思います。それからまた、国体となれば競技団体等も相当力を入れてやっておられる部分もありますので、学校とそういった部分との連携を図りながらよりよい選手を育成していくというようなことが我々の務めかなというふうに感じております。

**○岡田分科会長** 安達委員。

**○安達委員** 今の段階で答えられるところを想定はしたんですけど、今から何年か前だったんですけど、鳥取県で開催されたんですけども、そのときの運営にかかわって市の職員、実行委員会という委員会に委嘱されていくんですけども、随分競技種目もありますけれども、開催地は大変だったのと、競技選手や役員も大変だったなと思ってます。これからどうなるかわかりませんが、名称も変えたいと言っておられるようですので、国体という名称なくなるかもしれませんが、ぜひ地元のところもしっかり押さえて国のほうに要請なりをしていただければと思います。以前は非常に厳しい日程もあったし、開催施設の管理も大変だったなと思ってますので、ぜひ今の段階から議論をしておいていただければと思います。要望です。

**○岡田分科会長** 安達委員、これ総務文教分科会ですので、そのこと踏まえた上で御質問

をお願いします。そこだけは御了解ください。

そのほかありませんでしょうか。

岡村委員。

**○岡村委員** あと2点ほどちょっとお伺いしたいと思うんですけども、こちらのほうの76ページ、先ほども議論になりました部活動指導員配置事業と、ちょっとその前に運動部活動外部指導者活用事業に関連してのことなんですけども、外部からいろいろ指導者を招聘するというふうな形なんですけども、やはり学校の行事の中で部活動をやっていく上で指導者を招くということですから、ある程度、学校としても教育委員会としてもきちんとした方を招かなきゃならんというふうに考えるんですけども、そういった意味で指導者としての適格性についてのガイドラインというんでしょうか、そういうものというのは何か決めて、やっぱりこういったものにかなうということの基準というものをしっかり持っていくということが、単に学校長からの推薦とかということではなくって、そういったある程度ガイドラインというものを定めながらこうですよというふうに示していくということがちょっと必要になってくるんじゃないかなというふうに思うんですけど、その辺どういうふうにお考えでしょうか。

**○岡田分科会長** 金川次長。

**○金川教育委員会次長兼学校教育課長** 今、お問い合わせがあった、この予算を認めていただきまして、その後で、国のほうからも要綱が出ております、それを受けまして米子市としても要綱のほうを作成して、それでそういう指導者のほうが基準といいますか、該当、こういう方がというようなガイドラインのようなものはこれからつくっていくというふうに考えてますので。

**○岡田分科会長** 岡村委員。

**○岡村委員** ぜひそういった形でしっかりと教育委員会としてもこういう方にぜひお願いしたいという基準というんですが、言われましたようにそういったものを持っていただきたいというふうに要望しておきたいと思います。

あと最後1点ですけども、こちらのほうの事業別予算説明書の176ページ、教育費の社会教育総務費の中で、一番下に成人式があります。この中で、前年度に比べて倍以上予算額が伸びているといったことについて、これはなぜなのかということについてちょっとお伺いしたいと思います。

**○岡田分科会長** 片岡課長。

**○片岡生涯学習課長** 31年度、明年の32年の1月3日、成人式を予定しておりますが、この時期通常使っておりましたコンベンション、それから産業体育館ともに改装工事に入るとことで、この2カ所が使えないというところで、このたびは米子市公会堂を会場として今計画をしているところでございます。

それにあわせて、周辺道路の混雑等も予想されることから、30年度は見ておりませんでした警備委託、それから看板等も、今まではコンベンションに合わせていたんですけども、公会堂に合わせたバックステージの看板であるとか、入り口の看板の作成、それから大きなもの、先ほど言いました駐車場の渋滞緩和を含めて、元やよひのひまわり駐車場を、あそこを全面お借りする話をしておりまして、そこで乗降していただくようお願いする車の運行経路といいますか、車両の流れ、そういうものを今検討しているところでござ

ざいます。あわせてシャトルバス等の計画も入れておまして、昨年よりも倍近い金額となっているのが現状でございます。以上でございます。

○岡田分科会長 岡村委員。

○岡村委員 要望ですけれども、公会堂でやるということでは、やはり相当な混雑というものが予想されますので、そこら辺、緩和していただきますよう強くお願いしたいと思います。以上です。

○岡田分科会長 そのほかありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

午前 11 時 42 分 休憩

午後 1 時 20 分 再開

○岡田分科会長 それでは、予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

議案第 27 号、平成 30 年度米子市一般会計補正予算（補正第 5 回）のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

○下関財政課長 それでは、議案第 27 号、平成 30 年度米子市一般会計補正予算（補正第 5 回）のうち、本分科会に付託されました総務部所管の補正予算の主な事業について御説明をいたします。お配りしております平成 30 年度米子市補正予算書のほうをごらんいただきたいと思います。

ページのほうが 42 ページでございます、ごらんいただきたいと思います。それでは、歳出でございますが、上の表、一般管理費の右端、説明欄 1 行目に、一般管理費人件費といたしまして 3 億 757 万 3,000 円を計上しております。これは定年退職者以外に自己都合等により職員が退職することに伴うものでございまして、新たに必要となります人件費について措置しようとするものでございます。

続きまして、同じページのその下、財産管理費の説明欄 1 行目に財政管理事務費といたしまして 1 億 6,228 万 5,000 円を計上しております。これは流通業務団地に進出の事業者から定期借地期間が到来した土地の買い受けの申し出があったため、土地の売り払い収入を起債償還のため減債基金に積み立てるものでございます。説明は以上でございます。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、次に、議案第 36 号、平成 31 年度米子市一般会計予算のうち総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

○下関財政課長 議案第 36 号、平成 31 年度米子市一般会計予算のうち、本分科会に付託されました議会事務局、総務部、会計課、農業委員会を除くその他の委員会及び淀江支所所管の一部の予算のうち主な事業について御説明いたします。

お配りしております平成31年度当初予算、歳出予算の事業の概要の1ページ目をお開きください。それでは、まず1ページ目の下の段です、無線放送施設整備事業といたしまして4億5,182万3,000円を計上しております。これは平成28年度から行っております防災行政無線のデジタル化でございます、31年度に82局を整備し、当初の計画を1年前倒しして完了させるものでございます。

続きまして、3ページ上の段、本庁舎設備等整備事業といたしまして3,450万4,000円を計上しております。これは本庁舎東側玄関側のハートフル駐車場の整備や多目的トイレ内へのベビーチェアの設置など、利用者の利便性向上や庁舎整備を行うものでございます。

続きまして、同じく下の段、非常用電源整備事業といたしまして1億1,746万7,000円を計上しております。これは大規模災害等により停電となった場合に備え、電源を確保し、災害対策機能を維持するため本庁舎に非常用発電機を設置するものでございます。

続きまして、4ページ上の段、つながる・深まる米子サポーターメールマガジン活用事業といたしまして31万6,000円を計上しております。これは本市の情報発信と関係人口の濃密化を図るため、ふるさと納税で蓄積したデータを活用し、メールマガジンを配信するものでございます。

続きまして、同じく下の段、心をつなぐ情報発信事業 in 広島といたしまして40万円を計上しております。これは原爆投下時の広島市長、栗屋仙吉氏が本市の出身であった縁を踏まえ、発信力のあるマツダスタジアムで本市のプロモーションを行うものでございます。

続きまして、5ページ上の段、米子ゴルフ場整備事業といたしまして1,150万円を計上しております。これは改修が必要な米子ゴルフ場の自動昇降式防球ネットのウィンチ9基を改修するものでございます。

続きまして、同じく下の段、米子ゴルフ場環境整備事業といたしまして770万円を計上しております。これは松枯れ被害を抑制するため、被害木の伐採や新たな植栽を行い、ゴルフ場の機能維持を図るものでございます。

続きまして、9ページ下の段、シティプロモーション推進事業といたしまして164万5,000円を計上しております。これは本市の魅力を内外に発信するものでございまして、31年度はプロモーション動画の制作やブランドブックの作成などを行うこととしております。

続きまして、ページのほうが少し飛びますけれども、67ページをごらんいただきたいと思います。67ページの下段、消防団車庫整備事業といたしまして3,322万4,000円を計上しております。これは県道の整備に伴って移転が必要となった加茂分団車庫の建てかえを行うものでございます。

続きまして、68ページ上の段、消防ポンプ自動車整備更新事業といたしまして1,982万8,000円を計上しております。これは消防団に配備している消防ポンプ自動車を年次的に更新するものでございまして、31年度は富益分団の消防ポンプ自動車を更新するものでございます。

なお、減債基金による繰上償還などにより後年度による公債費負担の軽減を図ることといたしております。説明は以上でございます。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 次に、議案第38号、平成31年度米子市土地取得事業特別会計予算を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下関財政課長。

○下関財政課長 議案第38号、平成31年度米子市土地取得事業特別会計予算の概要について御説明をいたします。お配りしております平成31年度事業別予算説明書をごらんいただきたいと思っております、203ページでございます。

それでは、上の表、起債償還元金といたしまして4,702万円を計上しております。これは平成18年度に土地開発公社経営健全化計画に基づき土地開発公社の用地を取得しておりますが、この際発行しました起債の償還金のうち元金部分を計上したものでございます。

続きまして、下の表、起債償還利子といたしまして131万3,000円を計上しております。これは先ほど御説明いたしました起債の償還金のうち利子部分を計上したものでございます。

なお、土地開発公社は、平成25年度末に解散いたしております。説明は以上でございます。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

稲田委員。

○稲田委員 今の説明ではないんですけど、以前、行財政改革特別委員会があって、今はもうないんですけども、ちょっとそういう観点から財政について見通しをちょっとここで確認という意味で質疑していいでしょうか。

○岡田分科会長 どうぞ。

○稲田委員 来年、31年度予算で市税のほうは2.6%増の見込みということでしたが、これ歓迎すべきことなんですけど、ちょっとこの内訳をまず、どの程度どこが伸びたというか、そのところ教えてください。

○岡田分科会長 下関財政課長。

○下関財政課長 市税収入の伸びの内訳ということでございますけれども、内訳といたしましては固定資産税、こちらのほうが2.3%、金額にして1億8,400万円を伸びております。次に、個人市民税、こちらのほうが2.1%、金額にして1億5,200万円ほど伸びております。それと法人市民税、こちらのほうも8%、金額にしまして1億3,600万円ほど伸びております。その結果、全体として2.6%、金額にして4億7,900万円ほど伸びたような状況になっております。そのように見込んでおります。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 最後、見込んでおるといことなんですけど、30年度も終わりかけてますので、現年度の実績からすれば今のパーセンテージ、あるいは増額分はほぼかたいだろう、当然そういう積算されてると思っておりますが、確認で教えてください。

○岡田分科会長 下関財政課長。

○下関財政課長 30年度の決算見込みのほうも踏まえた上での数字でございますので、それに近い数字ということで見込んでおるところでございます。それと国のほうが示しております地財計画、こちらのほうも参考にしながら見込んだところでございます。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 ここからは市長、副市長にちょっといろいろ聞いてみたいんですけど、昨年の9月議会の決算で税源涵養という言葉が、私は初めてというのをおかしいですけども、これは市政として攻めの姿勢の言葉だったと思います。来年度予算に向けた種まきという言葉が使われておりますが、市長も約2年かじ取りをされてきて、何らかの実感をつかんでこのたびの予算に当たられたと思いますけど、その辺、要はどういうところに予算化してあらわれたのか改めてちょっと教えていただけますか。

○岡田分科会長 伊木市長。

○伊木市長 将来の税収見通しも含めてでございますけれども、ことしこのような見立てを立てているんですが、来年度予算について先ほど説明したとおりなんですけど、やっぱり一つには、市中の給与水準がちょっと上がりつつあるのが個人市民税の増加の要因であろうということと、あと法人市民税については当然それは法人所得が上昇傾向にあるということが大きな要因であると。あと固定資産税については、設備投資、この辺が堅調であるということが伸びの要因でありまして、このことから財政の中長期の見通しは、原資は減っていくだろうという見立てを立ててますが、しかしながらこういう実績を見ると、やはり個人の所得をしっかりと伸ばしていくことや、あるいは企業活動が活発になって設備投資が伸びてくることがあれば、将来的な税収減の見通しを少しでもカバーできるんじゃないかというふうに考えております。

そこで、今、手がけている米子駅南北自由通路等整備事業ですけども、これに行く行くはやはり民間投資をいかに呼び込むかということが大きなテーマになってきます。そして、例えば米子インターチェンジ付近の新たな工業団地の整備もそうですけども、民間の設備投資を促しながら、そして一方で足りていないところがあるとなれば、給与水準の向上というものをいかに図っていくのかということと同時に来年度しっかりやっていきたい、そのように思っています。以上です。

○岡田分科会長 稲田委員。

○稲田委員 手元の資料で中期財政の昨年9月のものなんですけれども、先ほど市長も言及されましたとおり、例えば平成33年、ちょっと先の話ですけども、これ市税が178億ですから、今より10億円ぐらい開きがあると。上方修正されるということでしたので、もちろんそれでいいですけども、ぜひともこの伊木市政の、我々議会ですのでももちろんチェックはいたしますけれども、しっかりと積み上げたところはここ積み上げたんだというところでどんどんまた税源涵養、種まきのとこの部分も伊木市政としてつくって打ち出していきたい。これは要望しておきますし、もちろんチェックはチェックしていきたいと思っております。総括的な部分で、以上終わります。

○岡田分科会長 そのほかありませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

午後 1 時 3 6 分 休憩

午後 2 時 0 9 分 再開

○岡田分科会長 予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

議案第 2 7 号、平成 3 0 年度米子市一般会計補正予算（補正第 5 回）のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

八幡総合政策部次長。

○八幡総合政策部次長兼総合政策課長 そういたしますと、今回の平成 3 0 年度 3 月補正予算につきまして、総合政策部所管の部分を一括して説明させていただきたいと思っております。

3 0 年度の米子市補正予算書、これの 4 2 ページをお開きいただきたいと思います。4 2 ページ中ほどこちと下に、企画費というのがございまして、そこにまず広域行政管理組合負担金、これが約 8, 7 0 0 万の減額となっております。この主な理由といたしましては、不燃物処理、浄化場の処理の実績の減に伴い、市町村の負担金、本市の負担金が減額となったというものでございます。その下の生活路線運行対策事業、これ約 2 8 0 万円の増となっておりますが、この主な内容といたしましては、路線バスの運行に係る人件費、あと燃料費が増になったというものでございます。

それと、4 3 ページの下ほど、民生費のほうに移りますが、1 番、社会福祉総務費の中の上から 2 番目、住宅資金貸付事業特別会計の繰出金、これが 1 億 7, 2 0 0 万ほどの増額になっておりますけれども、これにつきましては特別会計を廃止するための繰出金でございます。

以上が今回の総合政策部所管の平成 3 0 年度第 5 回補正予算の概要でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 では次に、議案第 2 9 号、平成 3 0 年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第 2 回）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

黒見人権政策監。

○黒見人権政策監 そうしますと、議案第 2 9 号、平成 3 0 年度米子市住宅資金貸付事業特別会計補正予算（補正第 2 回）につきまして御説明いたします。

3 0 年度の米子市補正予算書 1 3 ページをお開きいただけますでしょうか。第 1 条におきまして、歳入歳出予算の総額に 6 7 万 3, 0 0 0 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 1 億 7, 6 7 8 万 2, 0 0 0 円としておるところでございます。

続きまして、5 9 ページをお開きいただけますでしょうか。補正予算の状況でございますが、まず歳入につきましては一般会計のほうから 1 億 7, 2 4 0 万を繰り入れしております。歳出でございますが、1 枚めくっていただきまして 6 0 ページをごらんいただけますでしょうか。繰上返済がございました貸付金に関する地方債の起債償還元金として 6 7 万 3, 0 0 0 円を計上しております。説明は以上でございます。

○岡田分科会長 当局の説明は終わりました。



委員の皆様からの意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

**○岡田分科会長** それでは、次に議案第36号、平成31年度米子市一般会計予算のうち総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

八幡総合政策部次長。

**○八幡総合政策部次長兼総合政策課長** そういたしますと、平成31年度の一般会計予算につきまして、総合政策部所管部分を一括して説明させていただきたいと思っております。なお、説明に当たりましては、ホームページ上で公表しております歳出予算の主な事業の概要、それと平成31年度の事業別予算書に基づいて御説明させていただきたいと思っておりますが、基本的には新規事業ですとか、前年度と比較して大きな変化があったものについて、それらを中心にかいつまんで説明させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

では、まず歳出予算の主な事業の概要のほうからの説明になりますが、2ページ目をお開きください。2ページ目に、男女共同参画推進課所管でございます、女性の専門職資格取得助成事業及び、その下段でございますワーク・ライフ・バランス促進事業、これにつきましては引き続き来年度も実施をさせていただきたいというものでございます。

続きまして、ちょっとはぐっていただいて6ページをお開きください。よろしいでしょうか。6ページ目の上段に書いてございます、これ新規事業でございますが、青少年海外派遣研修事業でございます。これにつきましては、本市の友好都市であります中国の保定市へ高校生を研修として派遣させていただきたいというものでございまして、実施に当たりましてはふるさとづくり基金を活用させていただきたいと考えております。

その下、環日本海拠点都市会議でございます。これは前年度と比較いたしまして1,100万円ほどの大幅な増額となっておりますが、この環日本海拠点都市会議でございますけれども、これは環日本海のいわゆる中国、韓国、日本、ロシアのそれぞれの都市のそれぞれの首長さんが一堂に会して、都市間の交流と発展について協議するものでございます。来年度につきましては、米子市の開催ということになっておりまして、米子市としておもてなしをきちんとさせていただかないけんということで、これだけの増額になっているということでございます。

続きまして、7ページ目、上段、米子空港利用促進懇話会特別会計の負担金でございますが、これにつきましては、引き続き来年度も実施させていただきたいということでございます。

続きまして、その下、生活路線運行対策事業でございますが、これにつきましては280万円増額となっておりますが、これにつきましては先ほども説明しましたけれども、燃料費等の経費の増加に伴い、事業費を増額させていただくというものでございます。

続きまして、8ページをごらんください。8ページの上段、移住定住推進事業でございます。これにつきましては引き続き来年度も実施させていただきたいと考えております。

その下、下段にございます、まちづくりビジョン策定事業、これは新規事業でございます。現在進めております第3次米子市総合計画、そして地方創生の総合戦略というのを、既にお話をさせていただいていると思っておりますが、来年度につきましてはこれらを一体的な

ものとして、仮称でございますけれども、まちづくりビジョンとして新たに策定するための諸費用を計上させていただいたということでございます。

続きまして、はぐっていただきまして9ページ、移住者向け住宅取得支援事業でございます。これにつきましては、前年度比約170万円増となっておりますが、基本的にはこれにつきましては、そこの括弧書きで書いてございます、平成30年の12月末をもって既に受け付けは終了いたしておりますが、基本的にこの受付分というのが来年度に残るといことで、この事業自体は平成31年度をもって事業を終了する予定となっております。

続きまして、10ページをごらんください。10ページの上段でございます、わかりやすいまちづくり（道路通称名）推進事業でございます。約140万円ほどの減額となっておりますが、主な中身といたしましては、道路標識の設置を4カ所から3カ所に減らした、その部分の費用がそこに減額となってあらわれたというものでございます。

その下段の公共交通活性化推進事業につきましては、引き続き来年度も実施させていただきたいというふうに考えております。

続きまして、11ページ上段、淀江地区光ファイバ網整備事業でございますが、これは30年度、31年度の2カ年で計画する事業でございます、引き続き来年度2カ年目ということで実施させていただきたいと考えております。

その下でございますが、新規事業でございます、巡回バス（どんぐりコロコロ）車両購入事業でございます。これは淀江町巡回バスの輸送形態の変更、これについては既に御説明させていただいたと思っておりますが、それに伴い本市で運行車両を取得する総経費を計上させていただいたというものでございます。

続きまして、12ページ、これも新規事業でございますが、国際交流員コーディネーター配置事業でございます。これは国際交流事業とか、先ほども少し触れましたけれども、平成31年度開催予定の環日本海拠点都市会議の円滑な実施を図りたいということで、このコーディネーターを配置させていただきたいということでございます。

続きまして、14ページ下段でございます、まちづくり活動支援事業でございます。これにつきましては、引き続き来年度も実施をさせていただきたいと考えております。

続きまして、ちょっと飛びますけれども、40ページをお開きください。よろしいでしょうか。40ページの下段、地籍調査事業の淀江振興課の分でございます。これにつきましては、1,300万円ほどの大幅な増額となっておりますが、この中身といたしましては、調査面積がかなりふえたということがその原因でございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、またちょっと飛ばしていただきまして、50ページ、下段でございます温泉施設改修事業でございます。これも新規事業でございますが、これにつきましては、オープンから18年が経過いたしました淀江ゆめ温泉施設の改修を行うというものでございます。

そういたしますと、主な事業の概要については最後の説明になりますが、54ページに伯耆古代の丘公園整備事業が上がっております。これにつきましては、前年度大幅に730万ほどの増ということになっておりますが、基本的にはこのたび入園料の無料化を実施させていただきたいということでございますけれども、それとあわせまして、リニューアルという部分を含めまして伯耆古代の丘公園の施設改修等を行う経費でございます。

以上が歳出予算の主な事業の概要についての説明でございますけれども、大変申しわけ

ございません、続きまして、あと平成31年度事業別予算説明書のほうで何点か説明をさせていただきますと思います。

まず、事業別予算書の8ページ、番号でいいますと67番でございます。67番の支所庁舎の管理事業でございます、これ990万円の増となっておりますが、これが支所の老朽化に伴い、内壁の改修をさせていただきたいというものの増額経費ということになっております。

続きまして、22ページでございますが、まず番号9番、広域行政管理組合負担金で、約9,800万の減ということになっておりますが、これにつきましては西部広域行政の退職手当の減でありますとか、桜の苑火葬炉等の補修工事が終了したため、予算総額が減額になっておりまして、それに伴い本市の負担金が減になるというものでございます。

その下の23番、水源対策事業、これにつきましては約1,500万の減となっておりますが、これにつきましては平成30年度におきまして賀祥ダム関係の起債償還というのが終了いたしました関係で、それに伴いこれだけの額の減額ということで計上させていただいております。

続きまして、24ページをお開きください。24ページの番号でいいますと59番、中海・宍道湖・大山圏域市長会の負担金、約380万円の増というふうになっておりますけれども、これは市長会の事業におきまして来年度は台湾、香港等の海外プロモーション事業の実施ですとか、あと中国横断新幹線のインフラ整備の要望等、そこに力を入れるということで、応分の経費増というのが本市の負担金の増ということになっているということでございます。

続きまして、26ページ、107番、巡回バス（どんぐりコロコロ）運行委託事業、これが約460万ほどの増となっておりますが、これにつきましては先ほどから申し上げておりますけれども、運行形態の変更に伴い、代替車両の使用の増額でありますとか、あと運賃が本市の収入になるということでございますので、それに伴って委託料が増額するというものでございます、そういう中身のものでございます。

続きまして、29ページの一番下でございます、208番、基幹業務システムの管理運営事業で約610万円ほどの増額ということになっておりますが、これは本市の基幹業務システム等の更新経費が、これが増額になるというものでございます。

続きまして、38ページでございます。38ページの番号9番、美保基地周辺コミュニティ施設改修事業、これが約410万円の減となっておりますが、これは平成30年度、今年度をもちましてコミュニティ施設の屋上防水改修事業が完了となることから、これだけの額が減になったものでございます。

その下の弓浜コミュニティ広場管理事業で、これが170万ほどの増となっておりますが、これにつきましては来年度から指定管理が更新されますが、それに伴って休日対応の市民サービス強化でありますとか、施設修繕の対応により、これだけの額が増になるというものでございます。

続きまして、39ページ一番下、12番、人権教育・啓発事業で、これが約110万ほどの減というふうになっておりますが、これにつきましては、平成30年度、今年度でございますけれども、人権の西日本夏期講座という大きな大会がありまして、その経費が来年度はなくなるということで、約110万ほどの減になったというものでございます。

最後になりますけども、134ページ、済みません、ちょっと飛びますが134ページをお願いします。134ページ、番号が102番、よどえ魅力発信プロジェクト推進事業でございます、これが前年度の比較で120万円増というふうになっておりますが、これは魅力発信事業に係る部用車の更新、その経費でございます。

以上が総合政策部所管の平成31年度米子市一般会計当初予算の概要でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

三嶋委員。

**○三嶋委員** これは質問というか提案というかというところになろうかと思うんですけど、友好都市、国際交流とかちょっといろいろ予算について説明をいただいたんですが、決算委員会で毎回、この事業効果は何なんだというところを問わせていただいているんですけど、例えば今、外国人労働者の受け入れの問題とかが出てきているんですけど、そういったところで、例えば米子市と友好関係を結んでいる都市があるんですけど、そういうところから米子市のほうに働きに来ていただけるような、ネガティブなイメージでちょっと国会なんかでも議論されることがあるんですけども、少なくともこの米子市と友好関係を結んでいるところは、安心して米子市に働きに来てもらえる受け入れ態勢とか、そういったようなまい国際交流のやり方というか、この事業を通じて何とかそういったところを友好都市との関係を深めていくような事業ができないかというふうに思っているんですけど、そのあたりの考えは何かお持ちなんでしょうか。

**○岡田分科会長** 大江総合政策部長。

**○大江総合政策部長** 労働者としての受け入れというのは、正直言ってあんまり考えたこともございませんで、今の国のほうでも論議になっているのが、中国、韓国、うちは友好都市は中国と韓国ですので、そこの客体というのはそれほど俎上に上がってないのかなみたいなイメージもございまして、ただ、御提案でございますので、これについてはそういう道というのも今後必要性が出てくる可能性もありますので、それは御意見を承りたいと思います。

**○岡田分科会長** 三嶋委員。

**○三嶋委員** というのは、会派でもちょっと勉強会を開いて、この件に関して勉強してみたいんですけども、やはりどうも事業者なんかと話をすると、ベトナムの方とか、あるいは中国の方とか、そういったところの方が多くて、となったときに特に米子市なんかは中国と姉妹提携都市を結んでいるんで、その中でやはり少なくとも友好都市を結んでいるところから米子市に来ていただく方は、いわゆる劣悪な環境でどうかというのが今いろいろと議論されてはいるんですけども、安心して働きに来てもらって、米子市のイメージを上げていくような、そういった戦略というのも今後必要になってくるんじゃないかなということ話をさせていただいて、それに絡めて、毎年この国際交流の事業というのはどういう効果があるんだという決算委員会の指摘を毎回させていただいているんで、何とかリンクできないかなというところからこの質問をさせていただいたんです、提案というか。

**○岡田分科会長** 伊木市長。

**○伊木市長** 今の件でちょっと私のほうから補足させていただきますけど、例えば青少年海外派遣研修事業ですけども、これは昨年8月に保定市を私が訪問した際に、まず1つ目の理由としては、先方の郭市長から、郭さんという市長さんなんですけども、その方から、今後保定市との友好を深めていくためにも、若い人の交流をもう少し推進できないかという御提案をいただきました。それが一点ございます。

もう一点は、実際保定市へ行きますと、今、人口が1,300万人ほどになっておりまして、友好関係を始めたときから約10倍になっているんですね。非常に北京の隣の位置にありまして発展著しいエリアになっています。その隣はさらに天津市とか、1,000万級、2,000万級の大都市が集合する地区でして、かつその保定市の中には今、雄安新区という、これは習近平国家主席肝いりの新しい経済特区がもうできています。そこにこれから2025年、中国製造というものがあるんですけど、中国製造2025を目標けて中国は国家の発展を図っている、そんなエリアに実は保定市が今なっています。

私は、自分で実際保定市へ訪れたときに、この発展著しい姿をぜひ若い人に見てもらいたいと思ったんですね。それが今回の事業につながってしまっていて、これは基金を財源として使わせていただくんですけども、これは非常に長期的に、中国がこれから先どうなるかという説もありますけれども、少なくとも著しい発展をとげているのは沿岸部から、今は明らかに首都北京の近く、ここへ来ておりますし、その中心の一つに我々の友好都市の保定市がある。こういう関係を生かして、若い人にぜひ見てもらいたいという意味を持っていますので、ちょっと長い目でこの経済効果というか、この事業効果については見ていただくと大変ありがたいなというふうに思っております。

**○岡田分科会長** そのほか。

国頭委員。

**○国頭委員** 先ほどの保定市の話は、私も野坂市長のときに、友好都市ならばぜひ踏み込んだ経済交流だとかをすべきだと言っていましたので、伊木市長になられてぜひやっていただきたいと思っております。

それと、事業別の予算説明書の25ページの82、主要な政策には毎年入っているわけですけど、ことはちょっと抜けておりまして、毎年ちょっと聞かせていただいている、だんだんバスの運行事業、これちょっとふえているんですけど、これについて、ふえた要因をお聞きしたいと思います。

**○岡田分科会長** 若林都市創造課長。

**○若林都市創造課長** ちょっと資料を出しますので。だんだんバスのほうが若干ふえているというのは、定期券の購入とか、それから乗り継ぎ割引とか、そういう利用がふえていることと、それから70歳以上の高齢者の方の民間のほうがつくっている制度のほうで、利用者がふえているということになります。

**○岡田分科会長** 山根都市創造課主幹。

**○山根都市創造課主幹** 補足をさせていただきます。だんだんバスの負担金につきましては、運行経費から運賃収入を差し引いた残りの額を負担金として支出しております。平成30年度につきましては、先ほど課長のほうが説明しましたが、定期券の利用とか、あと乗り継ぎ割引の利用者、あと昨年度から高齢者向けバス定期券の無償化を実施しております、この利用も伸びていることから運賃収入のほう若干減っております、それによ

って負担金のほうが増加しているということでもあります。以上です。

○岡田分科会長 国頭委員。

○国頭委員 となると、昨年以前原委員がだんだんバスの反対回りを提案されて、たしか市当局の部長さんがされるような話を言われていませんか。

○岡田分科会長 大江創造政策部長。

○大江総合政策部長 その時点では、公共交通のプロジェクトチームをつくって、そこで課題等あるので、その辺も検討はいたしますという答えだったと思いますけど、するという形での答えはさせていただいてはいないと思います。

○岡田分科会長 国頭委員。

○国頭委員 私と前原さんと話してたんですけど、されるような答弁だったように思いましたんで、予算が入ってないなというところでもあります。

今議会でこの公共交通についての、だんだんバスを含めた市内の交通の、昨年度各課で検討されたことを全員協議会で発表されたんですけども、路線の変更等もありましたけど、なかなか実態が見えてこないというところがあります。それはなかなか、市長も今議会でも答弁されてましたけど、うまくいってないというところであると思います。このあたりをやはりスピード感を持ってやっていただきたい。ただ、部長の答弁を聞いてましたら、部長が事業者があるので、なかなか市の意見は言えないというような答弁されたと思うんですよ。だからそうになってくると何もできないというような状況だと思うんですよね。幾ら市で考えたとしても、しっかりとその事業者と話し合っていて、それは米子市の意見も取り入れて、負担しているわけですので、赤字負担している以上は要望等もぜひ言っていただきたいと。少なからず予算がうまくいくように、削減なり、それから交通がうまくいくように少しでも変えていただきたい。私、毎年のように言うておるものですので、そのあたり今年度も言わせていただきたいと思うんです。この間、全員協議会であったときは、皆さんから結構進んでないという意見もありましたので、要望ですけど、あの計画はさらにもっと話していただいて、考えていただいて、さらに進めた案をまた出していただきたいなと、これは要望です。

○岡田分科会長 伊木市長。

○伊木市長 これは、きのうの岡田委員さんからの全体会での質問に対する答弁の補足にもなるんですけども、この1年間は決して事業者と話し合っただけじゃありませんが、ただ、こうやって米子市が赤字補填している以上、事業者のほうは収支上は実は困っていないと。はっきり言うてですね。運転手不足という悩みはもちろん抱えていらっしゃるんですけども、収支上は少なくとも悩みは特にはないということです。それで、そうなりますと、我々が幾らもっと頑張ろうやと言っても、そこははっきりは言われませんが、積極的に動くという状況ではないなというのがはっきりとよくわかってきました。これは米子市の場合は全面的に事業者がいわゆる公共バスを運営していますので、例えば松江市のように松江市バスとか、そういう立場ではないという実情がございます。

それで、来年度、交通政策課という新たに課を新設させていただくのは、これは相当な調査量だとか、いわゆる提案力というものが必要だなと。つまり市内のバスの路線バスの体系をどういうふうに変えると、どういうふうにお客さんがふえる可能性があるだろうとか、そこまでいつての調査・研究をしての提案が必要になってきますので、その段階ま

で今来たというところはちょっと御理解いただきたいんですね。その上で、これだということでは決まれば御提案し、事業者の方に納得をいただいて、これで頑張りましょうやと。そういうとこでできた路線については、それこそ循環バス、今のだんだんバスがどういうルートになるか、それが決まれば、当然そこからもう一回反対回りも検討したいと思えますし、それからいわゆる利用促進策、これもいろいろ打っていきたいし、わかりやすい表示とか、それから最終的にはICカードの導入というのも、これも検討課題になってきます。今はちょっとなかなか手が出せないほど高額ですけども、そういうような検討に入っていきたいというふうに思っています。

**○岡田分科会長** よろしいですか。

国頭委員。

**○国頭委員** 市長は青年部で会長だったときに、私が公共バスの委員でおりましたけど、そういったいろんな案はあると思うんですけど、全てを市長の公約でも、公約というか、しっかり公共交通やられると言っておられたので、やっておられると思いますけど、少しでも毎年毎年進んでいくようお願いしたいと思います。以上です。

**○岡田分科会長** そのほかよろしいでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** 事業別の22ページの賀祥ダムの事業が今年度で終わるとか、負担金がなくなりました的な項目だったと思っていますが、31年度以降はそのメンテ的なことは誰がどのようにされるのか、ちょっと知りたかったんですが。

**○岡田分科会長** 若林都市創造課長。

**○若林都市創造課長** 申しわけございません、我々のほうは水源地の負担ということで払ってきておまして、ちょっとメンテナンスのところまで手持ちの資料がございません。また確認させていただいて報告させていただきます。

(「後でいいです、よろしくをお願いします。」と安達委員)

**○岡田分科会長** よろしいですか。それは確認をしていただいて、提出いただくということをお願いいたします。そのほかないですか。

〔「なし」と声あり〕

**○岡田分科会長** それでは、予算決算委員会総務文教分科会を暫時休憩いたします。

**午後2時43分 休憩**

**午後3時10分 再開**

**○岡田分科会長** それでは、予算決算委員会総務文教分科会を再開いたします。

分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見がありましたら発言をお願いいたします。

**○稲田委員** 注文つけたのは幾つかはあるんです。意見が分かれて議論したまでは行っていないので、どんなレベルまでどうすくい上げて言うかということ。

**○安田委員** 何もないというわけではないけんね。こういうふうに検討してほしいとか、こういうふうな意見があったとか。

**○稲田委員** 全く個人的な意見でいいですか。

**○岡田分科会長** はい、どうぞ。

**○稲田委員** 産業医のところ、80時間を待つまでもなくという部分は、強くそれは言

わせていただきます。

○岡田分科会長 ああ、なるほどね。当初80時間以上だとかって言ってたけど、そうじゃなくて、できるだけ。

○稲田委員 もうそれは、だって多忙の解消へ直結する話なんでも言わせてもらったんですけど。

○安田委員 その辺は臨機応変に当局のほうでも取り扱ってほしいみたいな。

○田村委員 公共交通、何かなかったですっけ、バスの。なかった。

○稲田委員 あの安達さんの言われた福米西の件で、もう少し予算組むのはわかるけども……。

○岡田分科会長 これからどれぐらい子どもがふえてという、その基礎データですね。安達委員さんに言ってもらった分ですね。それ、その辺ちょっとやりましょうか。要は、人口が減っているのに一部分だけ瞬間的にふえているから、間違いなく恒久的にふえる地点はないんだがね。車尾も、観音寺新町がもう大分いっぱいになったけん、これで終わりなんだと思ったけど、でも車尾も大きくしてしまつとるだがね。あの辺は確かに言われるようにちょっと精査しないと、要は瞬間のことだけで対応するっていうことは、統廃合を片一方でやっとして、片一方はでかくして、10年後にはやっぱり減りましたみたいなのはちょっとね。だけん、その辺も数字のデータをきちんと出して、まあ出してもらった上で決めるというのは、当然いいと思うんですけど。

○安田委員 まあ日新小学校みたいなこともあるけんね。

○岡田分科会長 いや、本当にそうですよね、あれ。だってあれ、尚徳小学校をつくって、生徒が多いからってね。そしたら、こっちはなくしましたみたいな。だから、どの辺の年月のスパンで考えるかっていうのもあるでしょうし。

あれもちょっと、佐藤さん、何かありますか。安達さんが聞かれた、福米西小のね。

○佐藤議会事務局主任 おっしゃったようなことをメモしているかということ。今、委員長さんが言われたことまでは言うてはおられないんですけど、資料も請求しておられます。

○岡田分科会長 ということだね。

○田村委員 出生データに基づくだったようなことかな。

○佐藤議会事務局主任 そうですね、はい。

○田村委員 それでいいんじゃないですかね。

○岡田分科会長 それはやっぱりきちっと出してもらって。

○安田委員 居住人口でしょ。

○岡田分科会長 ゼロ歳から何歳までって。ただ、あれに本当は、例えば新しい計測値があるかで、人口増加の可能性のある地点と、それもおかつ、その造成がやっぱりある程度終わっているところと終わってないところと、その辺は加味しないと出せないと思うんですけどね。単純にやっぱり新しい住宅地ができたところが大きくなっているわけじゃないですか、大造成したところが。そこが埋まったら大体人口はストップしてますからね。そこは、ちょっとそこまで本当は踏み込んで資料請求したほうがよかったかな。

○安田委員 難しいね。

○岡田分科会長 いや、難しいですね。

○安田委員 そうしたら、本当、大きな観点で、公民館の再編みたいな感じで、この地域



を入れたらどうなるのか、そんなようなこともあるから、それは統廃合も含めての話になるんだけど、もっともっと大きな観点ではそうかもしれんけれども、近未来的なもので、ある面では想定をしてやっていかないと。

○**岡田分科会長** 一つの問題提起としてはいいんじゃないですかね、その大きな問題のくくりの中で、一つそういう視点がやっぱり必要なんだということを提示してみるということで。

○**田村委員** いいと思います。

○**岡田分科会長** あともう何かないですか。

○**稲田委員** 総務がなかったですか。

○**国頭委員** 市の職員は月45時間、聞いたけど。その後、何も指摘は……。

○**安田委員** あれは前後にずらすだけの話だけんな。

○**稲田委員** それ、議案のほうでしょ。予算じゃない。あと、矢田貝さん、聞かれましたよね、スクールソーシャルワーカーの。

○**矢田貝委員** 結構皆さん、聞かれてませんでしたか、スクールソーシャルワーカーの。だから何っていう。私がそこで持っていきかけたのは、ひきこもりも含めて他の課と連携していくという、その方向をしっかりとってやっていただけたらなという思いではあったんですけど、それが聞き出せたかなという気はするんで、どうかなと。

○**安田委員** 活用方法ですね。時間が増したので、今までは出られなかったけども、全部出られるようになったと。なら、出られるようになったけんどうなるんだいうところは追及してないけん、あれだけど。

○**岡田分科会長** スクールソーシャルワーカーのことも重要なことだと思うんですけどね。

○**安田委員** 時間がふえたんだけん、もっと活用の仕方があるんじゃないかというところぐらいはいけると思うけどな。

○**岡田分科会長** その辺等入れてもらって、佐藤さん、その辺のことも含めて。

○**佐藤議会事務局主任** ただ、発言しておられないところまではちょっとあれなんですけど。

○**安田委員** 連携がとれるんじゃないかというところは。

○**佐藤議会事務局主任** 連携の話は言っておられます、やっていきますというような、連携とっていくのでというふうなこととか。

○**岡田分科会長** あと何かなかったかな。

○**三嶋委員** これぞっていうのが。

○**安田委員** このくらいじゃない。

○**岡田分科会長** これでいいですか。2つかいな、3つかいな。

○**佐藤議会事務局主任** 先ほど言われたのは、労働安全の80時間を超えなくてもという、それはどうされますか。

○**岡田分科会長** そうだね、それと。

○**佐藤議会事務局主任** 福米西小の増築の話と、スクールソーシャルワーカーと。

○**岡田分科会長** スクールソーシャルワーカーと。

○**佐藤議会事務局主任** こういう意見がありましたというふうなところで。

○岡田分科会長 それぐらいでいいですか。では、ちょっと一回つくってみて、また一回見てもらおうということによろしいでしょうかね。

〔「はい」と声あり〕

○岡田分科会長 それでは、以上で予算決算委員会の総務文教分科会を閉会いたします。

**午後 3 時 1 8 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務文教分科会長 岡 田 啓 介